

食品安全関係情報(9月21日～10月11日 収集分※1)について

「食品安全関係情報」として食品安全委員会が収集したハザード毎の地域別情報件数の概要

(集計数は、今回/前回)

9月21日～10月11日収集件数 (合計145/147件) (前回 8月31日～9月20日)		国際機関	北米		欧州		大洋州	アジア		中南米等	その他
		WHO・FAO等 (5/7件)	米国 (13/15件)	カナダ (1/2件)	EU、EFSA (52/39件)	各国 (27/18件)	FSANZ等 (7/4件)	中国 (5/7件)	各国 (4/8件)	各国 (1/2件)	報道、論文等も含む (30/45件)
化学物質	化学物質・汚染物質 (10件)	0	0	0	1	4	0	3	0	0	2
	食品添加物 (3)	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0
	農薬 (45)	1	6	0	34※2	1	0	0	2	0	1
	動物用医薬品 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	器具・容器包装 (1)	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	その他 (4)	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3
(63/56件)											
微生物・プリオン・自然毒	細菌 (13件)	0	2	1	0	6	0	0	0	0	4
	ウイルス (8)	0	0	0	1	1	0	0	0	1	5
	原虫・寄生虫 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	プリオン (6)	0	0	0	1	2	0	0	0	0	3
	植物性自然毒 (4)	0	0	0	0	2	1	1	0	0	0
	カビ毒(マイコトキシン) (2)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	動物性自然毒 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他 (6)	4	0	0	0	1	0	0	0	0	1
(39/56件)											
新食品等	新食品 (0件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	GMO (10)	0	0	0	4	1	1	0	0	0	4
	健康食品 (2)	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	アレルギー (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	クローン (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	放射線照射 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ナノテクノロジー (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(12/8件)											
肥料・飼料等	肥料 (0件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	飼料 (8)	0	1	0	7	0	0	0	0	0	0
	その他 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(8/4件)											
その他	表示 (2件)	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
	放射性物質 (2)	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0
	その他 (19)	0	2	0	3	6	2	1	0	0	5
(23/23件)											
海外の食中毒	細菌 (0件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ウイルス (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(0/0件)											
海外のリコール	化学物質 (0件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	微生物 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	異物混入等 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	表示違反 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(0/0件)											

※1 収集期間については、主たる期間をいう。

※2 EFSAが2013年2月11日以降公表した農薬等のピアレビューを含む。

食品安全関係情報(9月21日～10月11日収集分 145件)のうち、主なものの紹介
(詳細及び他の情報については、食品安全総合情報システム(<http://www.fsc.go.jp/fsciis/>)をご覧ください)

【化学物質】

- ・欧州食品安全機関(EFSA)、2009年～2011年の欧州における食品中の3-MCPD発生の解析及び予備的暴露評価について科学的報告書を公表
- ・欧州委員会(EC)、Minamata条約を歓迎し、水銀政策についてのQ&Aを発表
- ・ドイツ連邦リスク評価研究所(BfR)

欧州連合(EU)が提案する食品中の過塩素酸塩の基準値は不十分とする意見書

乳牛の尿中のグリホサートに関する初めての評価

【微生物・プリオン・自然毒】

- ・欧州食品安全機関(EFSA)、ノルウェーのBSE年間モニタリング計画に関する最新の修正科学報告書を公表
- ・ベルギー連邦フードチェーン安全庁(AFSCA)

食肉処理衛生指標としてウサギ肉及び飼育ジビエ肉に適用する微生物管理措置介入基準値について意見書を公表

牛の特定危険部位(SRM)除去を廃止することは、公衆衛生上のリスクを増加させると考えられるとの意見書を公表

【新食品等】

- ・米国食品医薬品庁(FDA)、食品サプリメント(OxyElite Pro)が原因とみられる急性肝炎の発症で注意喚起

【その他】

- ・欧州食品安全機関(EFSA)、オミクステクノロジーの進展状況及び食品・飼料の安全性評価におけるその適用能力について外部委託した新しい科学技術に関する将来展望研究を公表
- ・ドイツ連邦リスク評価研究所(BfR)、2012年の年次報告書を発行